

表在食道癌に対する内視鏡的治療後予防的放射線療法の後方視的検討

1. 研究の対象

2004年1月～2017年12月に食道癌に対して内視鏡治療を実施され、追加治療として放射線治療を受けられた方。

2. 研究目的・方法

表在食道癌に対しては内視鏡的治療が第一選択として行われることが多いが、転移リスクの高い症例では追加治療として化学放射線療法が一般に行われている。後方視的に検討することで治療成績や安全性について評価する。

研究期間:倫理審査委員会承認後～2023年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:病歴、放射線治療計画データ、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

大阪国際がんセンター 放射線腫瘍科 井川 俊樹

住所:〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話:06-6945-1181

研究責任者:

大阪国際がんセンター 放射線腫瘍科 手島昭樹

以上